

福井しあわせ元気大会

第18回全国障害者スポーツ大会



第2日

第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」第2日は14日、福井県内各地で12競技が行われ、県勢はバレーボール聴覚男子が過去最高となる銀メダル、個人も4競技で計12個の金メダルを獲得するなど上位入賞が相次いだ。

陸上は肢体男子1部1000㍎(区分14)の木村勇聖(ソシオSOE JIMA)、50㍎ソフトボール投げ(区分7)の吉川雄斗(諫早特支)が2冠を達成。知的少年男子800㍎(区分27)の山田怜也(山口商店)も13日の1500㍎と合わせて2種目優勝を飾った。

水泳は肢体男子2部50㍎自由形(区分6)の原口幸雄(諫早水泳校)が29秒47をマークして、前日の25㍎自由形に続く大会新。卓球は3人が金メダルを手にした。

サッカー(知的)は初戦で福井に8-1で快勝したが、準決勝で札幌市に0-4で敗れて3位決定戦に回った。

最終日の15日は各地で7競技を実施後、福井市の福井県宮上競技場で閉会式を開催。県勢は3競技に出場する。(成績は本欄関係)

知的少年男子800、1500 肢体男子1部100、800

山田(山口商店) 木村(ソシオSOE JIMA) 2冠

東京パラ目指す両エース躍動

ハイライト

2020年東京パラリンピック 1500㍎と800㍎(区分7)を自指している人が、そろ 27、肢体男子1部の木村(ソシオSOE JIMA)は800㍎(区分27)で庄巻して県勢をけん引した。



種目	組別	選手	タイム
車いす使用	1組	①木村勇聖	15秒79
	2組	①草野哲実	20㍎79
車いす使用	1組	①木村勇聖	1分57秒20
	2組	①吉川雄斗	33㍎78
ソフトボール投げ	1組	①吉川雄斗	33㍎78
	2組	①木村勇聖	1分57秒20
聴覚障害者男子1部	1組	①草野哲実	18秒69
	2組	①山田怜也	2分27秒54
知的障害者少年男子	1組	①山田怜也	2分27秒54
	2組	①山田怜也	2分27秒54
知的障害者少年女子	1組	①山田怜也	2分27秒54
	2組	①山田怜也	2分27秒54

山田は13日の1500㍎で一つの金を獲得。だが「独走でペースが乱れた」と振り返ったように、満足できるタイムを出せなかった。この日の800㍎は、その反省を生かして序盤からペースアップ。2分4秒80の自己ベストをマークして「去年までの自分ならそのまま崩れていたが、修正できて良かった」と納得の表情を浮かべた。

木村はこの日、まず800㍎を1分57秒20で制したが「風の影響で終盤に失速した」。その悔しさをぶつけるように、約3時間後の100㍎はスタートから力強い走りを見せた。15秒79の自己ベストをたたき出した。

レース後、陸上勢の主将を務めた山田が「責任ある役割を任されて、周囲の存在の大きさを実感した」と話したように、2人は今大会、自らを支え、背中を押してくれる「チーム長崎」の大切さを肌で知った。そして2人は最後に同じ言葉で決意を示した。「長崎のみんなで頑張ることできる力もある。目標である東京パラリンピック出場を恩返ししたい」(藤井美和子)

福井市 福井県宮上競技場

(右) 陸上肢体男子1部800㍎(区分14)「最後の力を振り絞って1位でゴール」(ソシオSOE JIMA) 陸上知的少年800㍎(区分27)「ラストスタートをかけた」に輝く山田(山口商店)